## ■広報委員会だより 第2回おもしろ科学教室での広報活動

広報委員会では、昨年度から小中学生を対象とした科学 啓発イベントに参加し、プラズマ・核融合に関する広報活動に力を入れております。本年1月11日(月祝)に名古屋 大学で開催されました「第2回おもしろ科学教室」に共同 主催として参加し、プラズマ・核融合に関する展示活動を 行いましたので、その様子を報告いたします。

今回参加した科学啓発イベント「おもしろ科学教室」は、もともと昨年の「益川、小林、下村各先生のノーベル賞受賞を記念し企画されたもので、様々な学協会・団体が一致団結して、青少年の科学技術への関心を高めることを目的として開催されたもので、プラズマ・核融合学会も共同主催として参加しております。今回の展示内容は、核融合科学研究所、大阪大学の協力により、「超伝導磁気浮上列車」、「注射器火花放電装置」、「プラズマボール」、「ビデオ上映・核融合エネルギー」(以上、核融合科学研究所協力)、「大気圧低温プラズマジェット装置」(大阪大学北野先生協力)、さらには広報委員会で作成した小中学生向けプラズマ・核融合学習パンフレットの配布ならびにクイズを実施いたしました。すべての展示物とも大変盛況で、一時は人だかりができてしまうほどでした(写真1、写真2)。最終的なおもしろ科学教室全体の参加者は200名以上



写真1 クイズに夢中になる子どもたち.



写真 2 超伝導磁気浮上列車に興味津津.

となり、昨年度に引き続き多くのご家族の皆様に参加いただけました。

今回イベントで実施した新たな取り組みとして、学会員への展示物協力・イベントスタッフ募集を行いました。その結果、大阪大学の北野勝久先生に大気圧低温プラズマジェット装置実演(写真3)を行っていただくとともに、服部邦彦先生(日本工業大学)、柳長門先生(NIFS)、安藤あゆみさん(大阪大学)にイベントスタッフとしてご協力をいただきました。このような広報活動を広報委員会のみの活動で終わらすのではなく、学会員皆様と一緒に盛り上げていけるきっかけになれば幸いです。また、学会事務局の石山さん、杉山さん、北澤さんにもご協力いただきました。皆様のご協力に、記して謝意を表します。広報委員会からは、畑山明聖広報委員長、中村幸男常務理事、中村圭二広報委員、西村清彦広報委員、日渡幹事が参加いたしました(写真4)。

今回のような形で学会が、小・中学生の広報活動に参加していくことは、学会としての新しい広報活動の形ではないかと思われます。今回のような形態の広報活動を広く全国で継続・展開していくことで、小・中学生はもちろん、一般の方に、プラズマ、核融合の意義や本学会の活動を広く理解していただく機会を増やしたいと考えております。

(本学会広報委員会幹事 日渡良爾)



写真3 プラズマジェット出すクマ.



写真4 イベントスタッフ皆様、お疲れ様でした。